

第五次県立病院中期計画の取組状況に対する自己評価について (令和4年度年度末)

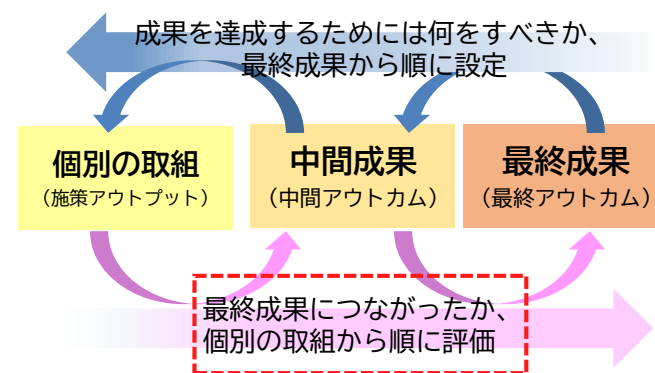
第五次県立病院中期計画の取組状況に対する令和4年度年度末自己評価について

1. 目標管理指標（ロジックモデル）について

令和4年3月策定の第五次県立病院中期計画から、「ロジックモデル」を基にした目標管理を導入しました。この手法は、「最終成果」「中間成果」「個別の取組」の3層構造で、成果を達成するために何をすべきかという観点で原因と結果の関連付けを行い、最終成果→中間成果→個別の取組の順で、目的を見失わないよう目標設定を行う手法です。

目標設定にあたっては、病院事業庁全体で目標意識を統一するため、最終成果について「医療の充実(小児Cは医療・保健・福祉の充実)」と「経営の安定化」を全所属共通目標としています。中間成果・個別の取組については、病院一丸となって最終成果を達成するために、病院毎に多くの所属に関連する目標や取組の設定としました。

この管理指標に基づき、令和4年度年度末の取組について、以下のとおり自己評価を報告します。



↑
今回の評価はこの部分です

2. 評価の方法について

(1) 4つの観点からの自己評価

それぞれの所属（県立3病院および経営管理課）において、個別の取組が中間成果・最終成果につながったか。ロジックモデルを用いた目標管理指標の最終成果ごとに、以下の①～④の観点から自己評価を行います。

- ①セオリー（整合性）評価 : 方向性と施策に整合性があるか
- ②プロセス（実施）評価 : 予定どおりに実施できているか
- ③インパクト（効果）評価 : 施策を実行した効果が成果に出たか
- ④コストパフォーマンス評価 : 投入資源と見合う効果が得られたか

(2) 最終成果ごとの総合評価

中間成果(中間アウトカム)および最終成果(最終アウトカム)の指標について、目標値への達成度をもとに「A(達成度100%以上)」「B(達成度80%以上100%未満)」「C(達成度80%未満)」で客観的な「アウトカム評価」を行い、最終成果(最終アウトカム)ごとに「総合評価」を行います。

(3) 経営協議会からの意見

(1)の自己評価および(2)の総合評価について、外部有識者会議である「滋賀県立病院経営協議会」からの意見をいただきます。

(4) 病院事業庁としての総合評価の確定

(1)から(3)を踏まえて、病院事業庁としての総合評価を確定させ、ホームページにおいて公表します。

個別施策(施策アウトプット)

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
1	あらゆる疾患に対する医療機能の充実				
	指標 三大疾患(がん、心疾患、脳血管疾患)の患者数(人)	3,162	4,700	4,731	4,900
2	医療人材の確保				
	指標 総医師数(人)	100	102	103	104
	指標 総看護師数(人)	503	520	510	530
3	医療安全の徹底				
	指標 インシデント・アクシデントレポートの全件数に占める医師からの提出割合(%)	3.9	6.4	3.4	10.0

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
4	職員の意識やスキルの向上				
	指標 職員必須研修参加率(%)	99.6	100	99.9	100
5	接遇の向上				
	指標 接遇研修の実施回数(回)	1	1	1	2
6	利用者の視点に立った改善				
	指標 利用者・職員からの提案による病院機能改善件数(件)	16	10	33	10

中間成果(中間アウトカム)

(医療)

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
1	医療の質の向上				
	指標 QI※参加項目における平均値より良好な項目の割合(%)	47.6	50.0	51.2	56

※ 病院の機能や診療、サービスなどを、様々な指標を用いて客観的な数値で示したもの(R3参加病院は346病院。全71項目中63項目に参加し、平均値より良好な項目は30項目)

(接遇)

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
2	患者対応の向上				
	指標 患者満足度の接遇に関する項目で、不満あるいはやや不満と答えた割合(%)	5.5	5.0	3.5	4.0

最終成果(最終アウトカム)

番号	最終成果(最終アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
1	医療の充実				
	指標 入院患者満足度(%)	88.0	88.5	91.7	89.5
	指標 外来患者満足度(%)	73.6	74.1	79.2	75.1

【中間成果1】医療の質の向上

がんをはじめとしたあらゆる疾患に対する医療機能の充実や、医師・看護師等の医療人材の確保、医療安全の徹底に取り組むことにより、医療の質の向上を図る。

【中間成果2】患者対応の向上

各種委員会による病院機能改善にかかる取組を推進し、接遇研修の開催回数、必須研修の参加率を上げていく。これらにより、接遇に関する患者満足度項目について、不満となる回答割合を抑えるよう促し、患者対応の向上を図る。

番号 個別施策(施策アウトプット)

7	適切な在院日数の設定	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	平均在院日数(日)	12.8	12.5	11.7	12.5
8	診療報酬の適正化	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	入院査定率(%)	0.527	0.5	0.4	0.5
9	DPC特定病院群(Ⅱ群)の取得	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	DPC特定病院群の「設定要件」充足項目数(3c除く8項目)	6/8	-	-	8/8

10	適切なベッドコントロール(病床管理)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	日平均入院患者数(人)	367.5	385	364.1	400

11	救急車の受入拡大	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	救急受入件数(件)	2,648	2,800	3,241	2,800

12	地域医療との連携による医療提供体制の構築	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	紹介率(%)	75.1	77	79.1	77
指標	逆紹介率(%)	56.4	57	76.4	57
指標	連携登録医数(人)	289	305	289	335

13	時間外勤務の縮減	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	職員一人あたり月平均時間外勤務時間数(時間)	15.5	14.4	15.7	14.1

14	品目数の削減	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	使用頻度の少ない品目の廃止件数(件)	20	20	28	20
指標	後発医薬品への切替件数(件)	9	10	12	10

15	診療材料・医薬品の価格交渉	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	価格引き下げによって低減した費用の割合(%)	-0.9	-0.4	-0.13	-0.4

番号 中間成果(中間アウトカム)

3	収益性の向上	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	入院診療単価(円)	71,839	76,280	74,201	78,750

4	効率的な病床の利用	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	病床利用率(%)	68.7	72	68.1	75

5	地域で求められる医療の提供	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	新規入院患者数(人)	9,459	10,000	10,950	10,000

6	適切な人件費比率	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	収益に対する給与費比率(%)	58.2	55.3	58.3	51.9

7	効率的な資源の配分	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	収益に対する材料費比率(%)	32.9	31.6	32.5	31.6

番号 最終成果(最終アウトカム)

2	経営の安定化	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
指標	経常収支比率(%)	102.8	102.2	105.3	102
指標	医業収支比率(%)	84.5	84.7	84.4	89.1

【中間成果3】 収益性の向上

適切な在院日数となるよう退院促進を実施し、診療報酬が適正となるよう請求漏れ防止に努めるとともに、DPC特定病院群(Ⅱ群)の取得を目指し、入院診療単価を引き上げ、収益性の向上を図る。

【中間成果4】 効率的な病床の利用

毎日の入院患者数を多く確保することで効率的な病床利用を促し、病床稼働率の向上を図る。

【中間成果5】 地域で求められる医療の提供

救急受入れの拡大や近隣医療機関との連携強化により、地域で求められる医療提供体制を構築し、新規入院患者の獲得を図る。

【中間成果6】 適切な人件費比率

時間外勤務の状況を改善することで、時間外勤務時間の削減に努め、適切な人件費比率の維持を図る。

【中間成果7】 効率的な資源の配分

扱う薬品の品目数を削減、後発医薬品への切替を促し、さらに価格交渉により薬価の引き下げに努める。これらにより、材料費比率の低減を図る。

最終成果：医療の充実

①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒優れた医療人材の確保と、病院スタッフのスキルの向上、意識改革を進める取組により、患者の満足度を高めるといった目標の設定は整合性のとれたものである。施設整備や高度医療機器の充実などハード面の取組と併せて、「医療の充実」を図る施策として取組んでいく。

②プロセス(実施)評価：予定どおりに実施できているか

- ✓ 計画どおりに施策が実施できたか：計画どおり 一部計画どおり 計画どおりでない

⇒高度急性期医療を推進していく中で、医師など医療スタッフの充実や接客能力の向上などに着実に取組んだ。コロナ禍の影響で、当院の強みである三大疾患の患者受入れが十分でない期間もあったが、一方で県立病院としてコロナ患者の受入れを積極的に行った。併せて、医療安全の徹底は、基本的なものとして引き続き取り組んでいく。

③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒当院の強みである三大疾患の患者に関しては、コロナ感染症の影響で受入れを控える時期があったが、県の政策医療に連動して、コロナ患者の受入れにおいては県内一の病床を確保するなど積極的な取組を行い、感染症対策にも大いに貢献した。

④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒医師、看護師など医療人材の確保に努め、研修等による医療スタッフのスキルの向上も図ったことで、医療サービスが充実し、患者満足度の向上につながった。引き続き、優れた医療人材の確保と育成に努めていく。

最終成果：経営の安定化

①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒各部門の取組として、患者数の増加や高度急性期医療を必要とする患者の受入れなど収入の確保と、材料費や人件費の抑制など経費の削減など、経営安定化という目標に向けて取り組んでおり、整合性は取れている。

②プロセス(実施)評価：予定どおりに実施できているか

- ✓ 計画どおりに施策が実施できたか：計画どおり 一部計画どおり 計画どおりでない

⇒新型コロナ感染症対策により入院患者の受入れを制限せざるを得ない期間もあったが、急性期医療の必要な患者の確保、救急車の受入れ体制の充実、地域の診療所や病院からの紹介率の向上などのため関係機関等との連携を深めるなど、日々の取組を行った。

③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒救急受入れ体制の強化や紹介患者の積極的な獲得に努めたことで、救急患者受入れ数や診療所からの紹介率を大幅に伸ばし、地域医療における当院の役割を果たせた。これにより、コロナ対策で落ち込んだ医業収益の回復につながった。

④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒高度急性期医療に特化した病院として必要な人材の充実、地域医療との積極的な連携、各部門における日常業務の改善の取組により、医療サービスの充実、医業収益の向上につながった。今後も適切な医療スタッフの確保や施設・設備の整備等も併せて、地域で求められる高度急性期医療の充実に取組んでいく。

医療の充実

番号	中間成果(中間アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

	医療の質の向上	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
1	指標 <small>※</small> 参加項目における平均値より良好な項目の割合(%)	50.0	51.2	102.4%	A

	患者対応の向上	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
2	指標 患者満足度の接遇に関する項目で、不満あるいはやや不満と答えた割合(%)	5.0	3.5	142.9%	A

番号	最終成果(最終アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

	医療の充実	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
1	指標 入院患者満足度(%)	88.5	91.7	103.6%	A
	指標 外来患者満足度(%)	74.1	79.2	106.9%	A

総合評価

A

経営の安定化

番号	中間成果(中間アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

	収益性の向上	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
3	指標 入院診療単価(円)	76,280	74,201	97.3%	B

	効率的な病床の利用	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
4	指標 病床利用率(%)	72	68.1	94.6%	B

	地域で求められる医療の提供	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
5	指標 新規入院患者数(人)	10,000	10,950	109.5%	A

	適切な人件費比率	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
6	指標 収益に対する給与費比率(%)	55.3	58.3	94.9%	B

	効率的な資源の配分	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
7	指標 収益に対する材料費比率(%)	31.6	32.5	97.2%	B

番号	最終成果(最終アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

	経営の安定化	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
2	指標 経常収支比率(%)	102.2	105.3	103.0%	A
	指標 医業収支比率(%)	84.7	84.4	99.6%	B

総合評価

B

<アウトカム評価の方法>

評価	内容
A	達成度100%以上
B	達成度80%以上100%未満
C	達成度80%未満

※目標を下回ることが求められる指標のため、達成度は逆数としている。

個別施策(施策アウトプット)

番号	指標	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
1	適切な在院日数の設定				
	指標 平均在院日数(日)	10.5	9.6	10.3	9.6
2	医療安全の徹底				
	指標 アクシデント件数(レベル3b以上)(件)	0	0	3	0
3	医療知識の向上				
	指標 医療安全、院内感染防止研修会の受講率(%)	92.5	92.5	99.2	93.0
4	地域関係団体との連携強化				
	指標 地域推進会議の開催(回)	4	6	8	6
5	医療人材の養成				
	指標 専門研修派遣者数(人)	126	121	127	133
6	政策医療の提供				
	指標 精密健康診断結果の要医療率(%)	43.3	35.8	47.0	36.4
7	地域療育支援				
	指標 療育研修会等の実施(回)	7	7	7	7
8	保護者支援				
	指標 保護者研修会等の実施(回)	15	15	15	15

番号	指標	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
9	外来の待ち時間短縮				
	指標 診療までの待ち時間を負担に感じる患者の割合(%)	24.3	24.1	22.0	23.7
10	療育部でのイベント等の実施				
	指標 イベント等の実施回数(回)	7	7	7	8
11	職員の改善等に係る意識の向上				
	指標 改善や工夫を意識して仕事に取り組んでいる職員の割合(%)	81.9	82.7	69.9	84.3
12	やりがいを持って働ける職場づくり				
	指標 現在の仕事に充実感や達成感を感じている職員の割合(%)	82.3	87.1	83.0	88.9

中間成果(中間アウトカム)

(医療)

番号	指標	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
1	医療、保健、福祉の質の向上				
	指標 入院患者満足度(医療)(%)	100.0	100.0	92.1	100.0
	指標 外来患者満足度(医療)(%)	99.4	99.6	85.7	100.0
	指標 通園者満足度(福祉)(%)	88.5	90.0	83.0	90.0

(接遇)

番号	指標	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
2	患者・通園者対応の向上				
	指標 入院患者満足度(接遇)(%)	100.0	100.0	92.5	100.0
	指標 外来患者満足度(接遇)(%)	97.8	98.0	87.8	98.4
	指標 通園者満足度(接遇)(%)	-	90.0	100.0	90.0

最終成果(最終アウトカム)

番号	指標	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
1	医療、保健、福祉の充実				
	指標 入院患者満足度(%)	100.0	92.0	89.5	94.0
	指標 外来患者満足度(%)	89.8	91.0	87.8	93.0
	指標 通園者満足度(%)	100.0	100.0	100.0	100.0

【中間成果1】 医療・保健・福祉の質の向上

専門研修への派遣による医療人材の養成や医療安全、院内感染防止研修を行うことにより、医療の質の向上を図る。また、政策医療の提供や療育にかかる保護者研修会等を実施することにより、保健、福祉の質の向上を図る。

【中間成果2】 患者・通園者対応の向上

外来の待ち時間短縮や院内(療育部内)での各行事・イベントを実施することで患者・通園者の満足度向上を図る。また、職員にとってやりがいのある職場づくりを行うことで職員の満足度を向上し、これらにより患者・通園者対応の向上を図る。

番号	個別施策(施策アウトプット)			
----	----------------	--	--	--

13	地域医療機関との連携強化	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 紹介率(%)	52.1	52.8	50.9	53.4
	指標 逆紹介率(%)	57.5	55.7	58.9	56.3
14	服薬患者への支援	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 服薬指導件数(退院指導含)(件)	212	220	253	260
15	療養生活への継続支援	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 栄養指導継続率(%)	29.2	34.0	47.1	38.0
16	医療機器の有効利用(検査)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 長期脳波ビデオ同時記録検査(テレメータ脳波)(件)	106	116	94	122
17	医療機器の有効利用(放射線)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 放射線撮影件数(件)	12,479	12,700	12,861	12,900

18	時間外勤務の削減	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 職員一人あたり月平均時間外勤務時間数(時間)	17.7	18.3	13.1	17.9

19	適切な薬品費比率	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 収益に対する薬品費比率(%)	14.2	15.8	14.3	15.8
20	適切な診療材料費比率	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 収益に対する診療材料費比率(%)	9.9	6.8	10.5	6.9

番号	中間成果(中間アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

3	医業収益の増加	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 医業収益(百万円)	2,028	2,343	1,979	2,741
4	病床利用率の向上	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 病床利用率(%)	47.0	56.8	43.2	70.0
5	新規外来患者の獲得	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 新規外来患者数(人)	3,045	3,055	3,308	3,241

6	適切な人件費比率	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 収益に対する給与費比率(%)	80.3	78.4	82.7	65.7

7	適切な材料費比率	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 収益に対する材料費比率(%)	24.7	23.2	25.4	23.3

番号	最終成果(最終アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

2	経営の安定化	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R6)
	指標 経常収支比率(%)	103.1	111.5	121.8	106.5
	指標 医業収支比率(%)	67.0	72.2	64.6	83.5

【中間成果3~5】
 医業収益の増加、病床利用率の向上、新規外来患者の獲得

リハビリ入院や総合検査入院等の促進、地域医療機関との連携により、病床利用率の向上や新規外来患者の増加につなげる。また、医療機器の有効利用や、服薬・栄養指導を行い、医業収益の増加を図る。

【中間成果6】 適切な人件費比率

業務の効率化等を行うことで、一人当たりの時間外勤務時間数を縮減し、適切な給与比率の維持を図る。

【中間成果7】 適切な材料費比率

取り扱う薬品数や診療材料費の見直し、納入業者との価格交渉により適切な材料費比率の維持を図る。

最終成果：医療・保健・福祉の充実

①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒最終成果と中間施策・個別目標のつながりおよび各分野の設定については、理にかなっており適切である。

②プロセス(実施)評価：予定どおりに実施できているか

- ✓ 計画どおりに施策が実施できたか：計画どおり 一部計画どおり 計画どおりでない

⇒各種施策は、予定どおり実行されている。

③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒「通園者満足度」は、目標値の100%を達成したが、「入院患者満足度」および「外来患者満足度」は、未達成だった。また、「職員の改善等に係る意識の向上」や「やりがいを持って働ける職場づくり」が未達成であったことから、職員のモチベーションの向上を図り、患者満足度の向上につなげていく必要がある。

④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒予定していた予算の範囲内で、計画的に事業が実施できた。今後も引き続き、効率的・効果的な事業を実施していく。

最終成果：経営の安定化

①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒最終成果と中間施策・個別目標のつながりおよび各分野の設定については、理にかなっており適切である。

②プロセス(実施)評価：予定どおりに実施できているか

- ✓ 計画どおりに施策が実施できたか：計画どおり 一部計画どおり 計画どおりでない

⇒おおむね計画どおり実施できたが、入院患者が減少したことから、一部医療機器の有効活用が計画どおり実施できなかった。次年度に向けて、目標達成のための方策を検討する。

③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒経常収支比率は、新型コロナウイルス病床確保補助金の増加により達成できたものの、医業収支比率は未達成となった。外来患者は、少しずつではあるが、堅調に回復しているが、入院患者が戻ってきておらず、引き続き、病床利用率向上のための取組を行うとともに、経費節減に努める。

④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒予定していた予算の範囲内で、計画的に事業が実施できた。今後も引き続き、効率的・効果的な事業を実施していく。

医療・保健・福祉の充実

番号	中間成果(中間アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

		医療、保健、福祉の質の向上	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
1	指標	入院患者満足度(医療)(%)	100.0	92.1	92.1	B
	指標	外来患者満足度(医療)(%)	99.6	85.7	86.0	B
	指標	通園者満足度(福祉)(%)	90.0	83.0	92.2	B

		患者・通園者対応の向上	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
2	指標	入院患者満足度(接遇)(%)	100.0	92.5	92.5	B
	指標	外来患者満足度(接遇)(%)	98.0	87.8	89.6	B
	指標	通園者満足度(接遇)(%)	90.0	100.0	111.1	A

番号	最終成果(最終アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

		医療、保健、福祉の充実	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
1	指標	入院患者満足度(%)	92.0	89.5	97.3	B
	指標	外来患者満足度(%)	91.0	87.8	96.5	B
	指標	通園者満足度(%)	100.0	100.0	100.0	A

総合評価

B

最終成果： 経営の安定化

番号	中間成果(中間アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

		営業収益の増加	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
3	指標	営業収益(百万円)	2,343	1,979	84.5	B
	指標	病床利用率の向上 <th>目標値 (R4)</th> <th>実績値 (R4年度末)</th> <th>達成度</th> <th>評価</th>	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
4	指標	病床利用率(%)	56.8	43.2	76.1	C
	指標	新規外来患者の獲得 <th>目標値 (R4)</th> <th>実績値 (R4年度末)</th> <th>達成度</th> <th>評価</th>	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
5	指標	新規外来患者数(人)	3,055	3,308	108.3	A

		適切な人件費比率	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
6	指標	収益に対する給与費比率(%)	78.4	82.7	94.8	B

		適切な材料費比率	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
7	指標	収益に対する材料費比率(%)	23.2	25.4	91.3	B

番号	最終成果(最終アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

		経営の安定化	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
2	指標	経常収支比率(%)	111.5	121.8	109.2	A
	指標	営業収支比率(%)	72.2	64.6	89.5	B

総合評価

B

＜アウトカム総合評価の方法＞

評価	内容
A	達成度100%以上
B	達成度80%以上100%未満
C	達成度80%未満

※目標を下回ることが求められる指標のため、達成度は逆数としている。

番号	個別施策(施策アウトプット)			
----	----------------	--	--	--

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
1	依存症患者への対応充実				
	指標 アルコール関連延べ患者数(外来)(人)	3,012	3,030	2,952	3,150
2	指標 アルコール依存症等の解毒目的入院患者の病棟教育の実施、外来プログラム、ARP、自助会への移行率(%)	33.3	40.0	54.9	60.0
	思春期患者への対応充実				
3	指標 思春期延べ患者数(外来)(人)	2,609	2,500	2,734	2,530
	指標 発達障害専門ケア在籍者数(人)	2	13	17	17
3	診療局各部門の充実				
	指標 検査件数(件)	111,373	112,000	108,625	112,000
	指標 薬剤管理指導件数(件)	218	200	224	210
4	指標 給食満足度(%)	92	84	91	85
	医療安全の徹底				
5	指標 アクシデント件数(レベル3b以上)(件)	1	2	3	1
	人材確保・育成				
6	指標 常勤医師数(人)	10	9	10	11
	指標 全職員向け研修開催件数(件)	13	15	15	15
6	情報提供・情報発信				
	指標 ホームページアクセス数(件)	159,837	160,500	175,411	162,000

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
7	地域連携の推進				
	指標 保健所に対する医師の技術協力(回)	27	24	28	36
8	指標 専門・認定看護師等の院外活動件数(回)	23	23	25	30
	チーム医療の向上				
9	指標 地域カンファレンス実施件数(件)	396	400	358	400
	指標 (うち患者参加件数)	(284)	(280)	(267)	(280)
9	社会復帰支援				
	指標 社会復帰に向けたプログラムの延べ参加者数(人)	5,597	5,500	4,646	5,500

番号	中間成果(中間アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

(医療)

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
1	政策医療の充実				
	指標 ARP※1入院者数(人)	36	40	45	50
	指標 SMARPP※2参加延べ人数(人)	166	160	195	470
	指標 STEP-G※3参加延べ人数(人)	33	40	118	55
	指標 思春期外来の学校・相談機関との連携割合(%)	-	50	43	50
	指標 デイケア(一般・発達)移行支援数(人)	11	12	19	20

- ※1 アルコール依存症リハビリテーションプログラム
- ※2 アルコール・薬物依存症の外来集団治療プログラム
- ※3 ギャンブル依存症の外来集団治療プログラム

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
2	地域生活移行の促進・定着				
	指標 平均在院日数(1・2病棟)(日)	72.0	80.5	69.8	84.0
	指標 退院後1年以内の地域での平均生活日数(1・2病床)(日)	-	316	-	316
2	指標 退院者数(3病棟)(人)	4	5	10	7

番号	最終成果(最終アウトカム)			
----	---------------	--	--	--

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
1	医療の充実				
	指標 入院患者満足度(1・2病棟)(%)	69.6	69.5	72.3	71.0
	指標 入院患者満足度(3病棟)(%)	70.9	72.5	73.2	74.0
	指標 外来患者満足度(%)	77.8	77.0	80.4	78.5
1	指標 デイケア患者満足度(%)	79.4	85.5	86.2	86.5

【中間成果1】政策医療の充実

依存症・思春期等の政策医療や高度・専門医療の推進・充実に加え、人材確保・育成や医療安全の徹底に取り組み、これらにより医療の質の向上を目指す。また、ホームページ等による積極的な情報提供・情報発信を行う。

【中間成果2】地域生活移行の促進・定着

地域医療機関や保健所、福祉施設などの関係機関との連携を図るとともに、退院促進等に向けたカンファレンスやプログラムの充実に取り組み、地域生活移行の促進・定着を目指す。

番号 個別施策(施策アウトプット)

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
10	緊急・救急患者の受入				
	指標 救急・緊急診療の受入件数(件)	105	100	114	100
11	地域医療機関との連携強化				
	指標 紹介数(件)	350	360	310	360
	指標 逆紹介数(件)	392	400	437	400
	指標 新規入院患者数(1・2病棟)(人)	323	340	310	350
12	医療機器の有効な活用				
	指標 X線検査件数(件) (うち他施設からの依頼)	663 (24)	650 (18)	515 (13)	680 (18)
	指標 CT検査件数(件) (うち他施設からの依頼)	358 (10)	340 (10)	594 (21)	400 (10)
	指標 MR検査件数(件) (うち他施設からの依頼)	585 (129)	590 (120)	538 (139)	650 (120)
13	特別食加算割合の増加				
	指標 特別食加算割合(%)	16.7	16.5	18.7	18.0

番号	個別施策(施策アウトプット)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
14	時間外勤務の縮減				
	指標 職員一人あたり月平均 時間外勤務時間数(時間)	8.4	8.7	7.7	8.6
15	医薬品購入額の削減				
	指標 外来院外処方箋発行比率(%)	81.6	79.0	80.6	80.0

番号 中間成果(中間アウトカム)

(医療)

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
3	病床利用率の向上				
	指標 病床利用率(1・2病棟)(%)	62.9	75.0	59.4	81.0
	指標 病床利用率(3病棟)(%)	89.0	95.7	97.8	95.7

(接遇)

番号	中間成果(中間アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
4	適切な人件費比率、 効率的な資源の配分				
	指標 医療収益に対する 職員給与費の割合(%)	112.9	103.7	114.0	98.3
	指標 医療収益に対する 材料費比率(%)	8.1	8.6	8.0	8.5
	指標 医療収益に対する 経費比率(%)	25.4	29.8	29.2	27.3

番号 最終成果(最終アウトカム)

番号	最終成果(最終アウトカム)	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
2	経営の安定化				
	指標 経常収支比率(%)	98.9	99.4	97.3	95.5
	指標 医業収支比率(%)	62.0	64.5	60.5	63.5

【中間成果3】 病床利用率の向上

救急・緊急患者や新規入院患者の円滑な受け入れのため、適切なベッドコントロールを行い、病床利用率の向上を図る。また、医療機器の有効活用により検査件数を増やし、収益の向上を図る。

**【中間成果4】
適切な人件費比率、効率的な資源の配分**

時間外勤務の縮減や、薬品等の購入費の削減等に取り組み、人件費、材料費、経費等の費用の抑制を図る。

最終成果：医療の充実

①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒取組の方向性と施策のつながりは妥当であり、効果が期待できるものである。検査件数は医師のオーダーにより検査を行っており、医師数の影響が大きい。なお、アクシデント件数は、患者の状況により発生したもので、やむを得ないものであったが、状況を把握することで、今後の発生時の迅速、適切な対応につなげていく。

②プロセス(実施)評価：予定どおりに実施できているか

- ✓ 計画どおりに施策が実施できたか：計画どおり 一部計画どおり 計画どおりでない

⇒R4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部、地域カンファレンス実施件数等で目標値を下回っているが、おおむね順調に推移している。

③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒各施策は計画どおり実行されており、おおむね施策の効果が出ていると考えられる。なお、「退院後1年以内の地域での平均生活日数」については、すべての退院患者の後追い調査を実施する必要がある。訪問看護等で継続して支援している患者の状況は把握しているが、それ以外の患者の状況は分からない。(当院に再入院となった場合は把握できるが、他院に再入院となった場合は、把握できない。)

④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒予算の範囲内で計画的に事業を実施しており、おおむね順調に成果も出ており、妥当である。

最終成果：経営の安定化

①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒取組の方向性と施策のつながりは妥当であり、効果が期待できるものである。医療機器の有効活用(X線検査件数等)は、医師のオーダーにより検査を行っており、医師数の影響が大きい。

②プロセス(実施)評価：予定どおりに実施できているか

- ✓ 計画どおりに施策が実施できたか：計画どおり 一部計画どおり 計画どおりでない

⇒目標値の半数を達成するなど、各施策はおおむね計画どおり実行されている。時間外勤務の削減、材料費比率の削減など、職員ができることでは、目標値を達成している。

③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒R4年度は、新型コロナの影響により、病床利用率等、最終成果の経常収支比率、医業収支比率で目標値を下回っているが、概ね順調に推移している。

④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒目標値の半数を達成するなど、各施策は計画どおり実行されており、最終成果の経常収支比率、医業収支比率で目標値を下回っているが、概ね施策の効果が出ていると考えられる。

医療の充実

番号 中間成果(中間アウトカム)

	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
政策医療の充実				
指標 ARP※1入院者数(人)	40	45	112.5%	A
指標 SMARPP※2参加延べ人数(人)	160	195	121.9%	A
指標 STEP-G※3参加延べ人数(人)	40	118	295.0%	A
指標 思春期外来の学校・相談機関との連携割合(%)	50	43	86.0%	B
指標 デイケア(一般・発達)移行支援数(人)	12	19	158.3%	A

番号 最終成果(最終アウトカム)

	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
医療の充実				
指標 入院患者満足度(1・2病棟)(%)	69.5	72.3	104.0%	A
指標 入院患者満足度(3病棟)(%)	72.5	73.2	101.0%	A
指標 外来患者満足度(%)	77.0	80.4	104.4%	A
指標 デイケア患者満足度(%)	85.5	86.2	100.8%	A

総合評価

A

	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
地域生活移行の促進・定着				
指標 平均在院日数(1・2病棟)(日)	80.5	69.8	86.7%	B
指標 退院後1年以内の地域での平均生活日数(1・2病床)(日)	316	-	-	-
指標 退院者数(3病棟)(人)	5	10	200.0%	A

経営の安定化

番号 中間成果(中間アウトカム)

	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
病床利用率の向上				
指標 病床利用率(1・2病棟)(%)	75.0	59.4	79.2%	C
指標 病床利用率(3病棟)(%)	95.7	97.8	102.2%	A

番号 最終成果(最終アウトカム)

	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
経営の安定化				
指標 経常収支比率(%)	99.4	97.3	97.9%	B
指標 医業収支比率(%)	64.5	60.5	93.8%	B

総合評価

B

	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
適切な人件費比率、効率的な資源の配分				
指標 医業収益に対する職員給与費の割合(%)	103.7	114.0	91.0%	B ※
指標 医業収益に対する材料費比率(%)	8.6	8.0	107.5%	A ※
指標 医業収益に対する経費比率(%)	29.8	29.2	102.1%	A ※

<アウトカム総合評価の方法>

評価	内容
A	達成度100%以上
B	達成度80%以上100%未満
C	達成度80%未満

※目標を下回ることが求められる指標のため、達成度は逆数としている。

番号 個別施策(施策アウトプット)

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
1	医療人材の確保				
	指標 病院説明会への参加者数(人)	84	90	124	100
	指標 実習受け入れ人数(人)	631	635	1,112	650
	指標 採用試験受験倍率(倍)	2.2	2.4	2.1	3.0

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
2	職場環境の向上				
	指標 看護師離職率(%)	6.2	6.2	7.6	6.0
	指標 年休取得日数(日)	13.2	14.0	13.0	14.0
	指標 男性育休取得率(%)	26.3	20.0	16.7	20.0
	指標 「職場は、ハラスメントを許さない雰囲気がある」と感じている職員の比率(%)	58.9	65.0	57.6	80.0
	指標 「ワーク・ライフ・バランスがとれている」と感じている職員の比率(%)	59.4	80.0	54.2	80.0
	指標 障害者雇用率(%)	2.70	2.72	2.95	2.80
3	職員の意識やスキルの向上				
	指標 看護師キャリアラダー研修の実施回数(回)	17	17	19	19
	指標 上記以外の病院事業庁実施研修の実施回数(回)	10	11	9	13
	指標 「職場は、教育や人材育成に力をいれている」と感じている職員の比率(%)	65.9	68.0	59.5	75.0
	指標 「職場は、病院または職場の目標実現に向けて、具体的な取組を進めている」と感じている職員の比率(%)	65.7	69.8	61.4	75.0

番号 中間成果(中間アウトカム)

(医療)

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
1	医療人材の確保				
	指標 医師確保率(%)	88.7	90.0	88.1	95.0
	指標 看護師確保率(%)	99.0	100.0	97.9	100.0
	指標 医療技術職確保率(%)	95.3	96.0	93.2	100.0

(接遇)

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
2	働きやすく魅力ある職場づくり				
	指標 「今後もこの病院で働きたい」と感じている職員の比率(%)	71.0	74.0	66.6	80.0
	指標 「日々の仕事を通して成長している」と実感している職員の比率(%)	71.9	70.0	70.6	80.0

番号 最終成果(最終アウトカム)

		策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
1	医療の充実				
	指標 総合病院入院患者満足度(%)	88.0	88.5	91.7	
	指標 小児保健医療センター入院患者満足度(%)	100.0	92.0	89.5	
	指標 精神医療センター入院患者満足度(1・2病棟)(%)	69.6	69.5	72.3	71.0

【中間成果1】 医療人材の確保

病院説明会や実習受け入れ等、医療人材確保に向けた取組を推進し、採用試験の受験者数の増加等により医療人材の充実を目指す。

【中間成果2】 働きやすく魅力ある職場づくり

年休取得率やワーク・ライフ・バランスの推進による職場環境の向上や、研修等により意識・スキルの向上に取り組み、働きやすく魅力ある職場づくりを推進する。

番号	個別施策(施策アウトプット)
----	----------------

番号	中間成果(中間アウトカム)
----	---------------

番号	最終成果(最終アウトカム)
----	---------------

	計画的な歳入確保	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
4 指標	未利用地売却、統合に係る交付金、有利な起債の活用等、新たな取組による歳入確保の額(億円)	0	0	0	2.3

(医療)

	収入の確保	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
3 指標	医業収益(百万円)	18,290	19,817	18,605	21,706
指標	医業外収益(百万円)	6,451	6,209	7,649	4,787

	医療の充実	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
2 指標	経常収支比率(%)	102.5	103.3	106.8	101.9
指標	医業収支比率(%)	80.6	81.1	80.2	86.0

	時間外勤務の縮減	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
5 指標	職員一人あたり月平均時間外勤務時間数(時間)	15.7	15.1	16.0	14.5
6 指標	統合時の費用削減効果の最大化 統合に係る削減費用の額(億円)	0	0	0	1.0
7 指標	診療材料・医薬品の価格交渉 医薬品値引率の全国平均値との差(%)	-1.13	0.1	-1.0	0.1

(接遇)

	費用の適正化	策定時 (R3)	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	目標値 (R7)
4 指標	収益に対する給与費比率(%)	64.78	61.9	65.3	56.6
指標	収益に対する材料費比率(%)	28.55	29.14	28.4	29.0

【中間成果3】 収入の確保

未利用地の売却や統合による交付金、有利な起債の活用等の新たな取組によって計画的に歳入確保を行うことにより、収入の確保を目指す。

【中間成果4】 費用の適正化

時間外勤務の改善や診療材料・医薬品の価格交渉により、費用の適正化を図る。また、統合時の費用削減効果が最大となるよう、システムの一元化や事務部門の縮小等の取組を行う。

最終成果：医療の充実

①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒取組の方向性と施策のつながりは適切であるが、「実習受け入れ人数」については、目標設定時の実績と評価時の実績把握方法が異なっているため、目標と実績に乖離があり、数値目標の設定方法を見直す必要がある。効果が期待できるものである。

②プロセス(実施)評価：予定どおりに実施できているか

- ✓ 計画どおりに施策が実施できたか：計画どおり 一部計画どおり 計画どおりでない

⇒施策は、おおむね計画どおりに実施できている。採用試験については、受験者数の更なる増加を図るため、実施時期や周知方法等について検討する必要がある。また、職場環境の向上については、令和5年3月に改定した「特定事業主行動計画」等に基づき、これまで以上に、休暇・休業を取得しやすい職場環境づくりに努めていく。

③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし・後退
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒中間成果の「医療人材の確保」については、年度当初(4月1日)に実績が確定してしまうため、上述のとおり、各年度の取組実績が反映されるのは翌年度となる。研修の実施回数は、中間時点に比べ改善しているが、看護師以外の研修については目標回数に達成しなかった。令和4年度に策定した医療技術職員の研修体系に基づき、研修の充実を図る。

④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒予定していた予算の範囲内で事業実施できている。効果的な事業の実施は当然であるが、今後より効率的な事業実施も意識して進めていく必要がある。

最終成果：経営の安定化

①セオリー(整合性)評価：方向性と施策に整合性があるか

- ✓ 最終成果に対して、施策の方向性は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 指標の設定は適切か：適切 一部適切 不適切
- ✓ 最終成果に対し、各個別施策の効果は期待できるか：適切 一部適切 不適切

⇒取組の方向性と施策のつながりは妥当であり、効果が期待できるものである。

②プロセス(実施)評価：予定どおりに実施できているか

- ✓ 計画どおりに施策が実施できたか：計画どおり 一部計画どおり 計画どおりでない

⇒診療材料・医薬品の価格交渉については、上半期は8月上旬、下半期は2月中旬から病院と業者間で価格交渉を行い、上半期は計3回、下半期は計1回の見積徴取を重ね、計画どおり事業を実施できている。未利用地売却については、関係機関との協議の中で、実施時期の見直しが必要となったが、売却に向けた条件整備のための予算を措置するなど、可能な範囲で取組を進めた。統合に係る交付金、有利な起債の活用については、確実に実施できるよう、スケジュールを意識し、次年度以降、必要な準備を進める。

③インパクト(効果)評価：施策を実行した効果が成果に出たか

- ✓ 中間・最終成果の指標に改善がみられたか：改善 一部改善 変化なし・後退
- ✓ 改善は、個別施策の実施による効果と言えるか：効果あり 一部効果あり 効果なし
- ✓ 個別施策の実施以外の要因の影響：多いに影響あり 一部影響あり 影響なし

⇒価格交渉の結果、概算で、上半期は約470万円、下半期は約85万円の値引となった。目標には達していないものの、医薬品値引率の全国平均値と、県立3病院値の差が、-1.13%から-1.0%となり、+0.13%改善した。また、未利用地売却については、関係機関の意向や進捗状況を踏まえ、効果の発現に向けて、引き続き、取り組みを進める。

④コストパフォーマンス評価：投入資源と見合う効果が得られたか

- ✓ 投入資源(予算・労力)に対し効果は妥当か：妥当 やや妥当 妥当でない 不明

⇒効果の発現が後年度となる項目もあるが、計画的に事業を実施しており、わずかではあるが効果も出ている。投入資源と効果の検証を、今後も引き続き行っていく。

医療の充実

番号	中間成果(中間アウトカム)
----	---------------

	医療人材の確保	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
1	指標 医師確保率(%)	90.0	88.1	97.9%	B
	指標 看護師確保率(%)	100.0	97.9	97.9%	B
	指標 医療技術職確保率(%)	96.0	93.2	97.1%	B

	働きやすく魅力ある職場づくり	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
2	指標 「今後もこの病院で働きたい」と感じている職員の比率(%)	74.0	66.6	90.0%	B
	指標 「日々の仕事を通して成長している」と実感している職員の比率(%)	70.0	70.6	100.9%	A

番号	最終成果(最終アウトカム)
----	---------------

	医療の充実	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
1	指標 総合病院入院患者満足度(%)	88.5	91.7	103.6%	A
	指標 小児保健医療センター入院患者満足度(%)	92.0	89.5	97.3%	B
	指標 精神医療センター入院患者満足度(1・2病棟)(%)	69.5	72.3	104.0%	A

総合評価

A

経営の安定化

番号	中間成果(中間アウトカム)
----	---------------

	収入の確保	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
3	指標 医業収益(百万円)	19,817	18,605	93.9%	B
	指標 医業外収益(百万円)	6,209	7,649	123.2%	A

	費用の適正化	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
4	指標 収益に対する給与費比率(%)	61.9	65.3	94.8%	B ※
	指標 収益に対する材料費比率(%)	29.14	28.4	102.6%	A ※

番号	最終成果(最終アウトカム)
----	---------------

	医療の充実	目標値 (R4)	実績値 (R4年度末)	達成度	評価
2	指標 経常収支比率(%)	103.3	106.8	103.4%	A
	指標 医業収支比率(%)	81.1	80.2	98.9%	B

総合評価

B

<アウトカム総合評価の方法>

評価	内容
A	達成度100%以上
B	達成度80%以上100%未満
C	達成度80%未満

※目標を下回ることが求められる指標のため、達成度は逆数としている。

最終成果である「医療の充実」および「経営の安定化」に対する総合評価をまとめると、次のとおりです。
この総合評価に対して、外部有識者会議である県立病院経営協議会から意見をいただきます。

	医療の充実	経営の安定化
総合病院	A	B
小児保健医療センター	B	B
精神医療センター	A	B
経営管理課	A	B
全体評価	A	B